

放射性物質の海洋汚染を組織的にモデリングする Coordinated efforts of modeling radionuclide distribution in the ocean

池田 元美^{1*}
IKEDA, Motoyoshi^{1*}

¹ 北海道大学
¹Hokkaido University

福島第一原子力発電所が東日本大震災の津波によって制御不能におちいり、大気に放出された放射性物質はすばやく拡がった。4月上旬における海洋への直接放出は、沿岸域から黒潮続流に取り込まれた。日本海洋学会ではワーキング・グループをつくり、海洋科学専門家を組織化すると共に、関連分野にも共同作業をよびかけた。シミュレーションも体系的なモデル比較を行っている。特に注目するプロセスは、沿岸から黒潮への取り込み、海底堆積物への蓄積、北太平洋全域への拡散である。この情報を公開し、思慮深い市民が現実を理解できるよう適切な解説を付けることを心がけている。ワーキング・グループの責任はわが国に留まることなく、国際的な情報公開にまで及ぶと考えている。

キーワード: 放射性元素, 海洋汚染, モデリング, 海底堆積物
Keywords: radionuclide, marine pollution, modeling, bottom sediments